



がっこうだより

枚方市長尾西町2丁目45番1号 TEL050-7102-9176
E-mail nishinagao-e00@city.hirakata.ed.jp
URL https://www.city.hirakata.osaka.jp/soshiki/6-1-0-0-0_2.html

枚方市立西長尾小学校 令和4年 6月号

<西長尾小学校のめざす児童像>

1. 心豊かな子ども（自他を大切に
する、思いやりのある子ども）
2. 深く考える子ども（自ら学び、
考えて行動できる子ども）
3. 心身ともに健康な子ども

対話のはじめは耳を傾けること

新しい学年での生活に、子どもたちはだいぶ慣れてきました。毎日の学習に取り組む様子に、自分らしさをよりよく出そうとする姿勢が、少しずつ見られるようになっていきます。

1学期の半ばは、その自分らしさと自分らしさ、個性と個性がぶつかり合い、それが子どもたち自身のコミュニケーション力を磨く、貴重な「学びの機会」となっていく時期です。気持ちや意見のすれ違いから、感情的になって、ときにはけんかになることもあります。そうした、もつれた系のような出来事一つ一つを、子どもたち自身の、他者理解と自身の理解を深める機会にもなるよう、支援・指導を丁寧に重ねていく決意でいます。

さて、6年生の国語の教材に、『風切るつばさ』という物語があります（この物語は、絵本『あらしのよるに』の作者による作品です。友情をテーマにした作品をたくさんつくっておられます）。『風切るつばさ』では、主人公のクルルは自分の思いを自分からは伝えません。そんな中で飛べなくなってしまう。そのくだりを読んだ時、いつも頭をよぎるのは、他の人に自分の気持ちが分かってもらえないという体験の、心や身体へのダメージの大きさです。多感な子どもたちどうしの関係に、クルルの姿が重なって見えることもあります。

そんな状況におかれたときの気持ちを想像しつつ、子どもたちの話す言葉に、丁寧に耳を傾けていきたいと思えます。教職員をはじめ、周りの大人の、そのような寄り添いの姿勢が、未来の社会をより良くすることにつながっていくと信じています。

子どものマスク着用について(文部科学省リーフレットより)

国から新しい対策の方針が出されています。熱中症の予防と、感染症予防のバランスがうまくとれるように、場面に合った着用を心がけましょう。

新型コロナウイルス感染症対策

子どものマスク着用について

人と距離(2m以上を目安)が確保できる場合においては、マスクを着用する必要はありません。また、就学前のお子さんについては、マスク着用を一律には求めていません。

就学児について (小学校から高校段階)

マスク着用の必要がない場面



屋外

- ・ 人と距離が確保できる場合
 - ・ 人と距離が確保できなくても、会話をほとんど行わないような場合
- <例> 離れて行う運動や移動、鬼ごっこなど密にならない外遊び
- <例> 屋外で行う教育活動(自然観察・写生活動等)

屋内

- ・ 人と距離が確保でき、会話をほとんど行わないような場合
- <例> 個人で行う読書や調べたり考えたりする学習

学校生活

屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業や運動部活動、登下校の際 ※運動部活動において接触を伴う活動を行う場合には、各競技団体が作成するガイドライン等を確認しましょう ※活動中以外の練習場所や更衣室等、食事や集団での移動を行う場合は、状況に応じて、マスク着用を含めた感染対策を徹底しましょう

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。

保育所・認定こども園・幼稚園等の 就学前児について

2歳未満

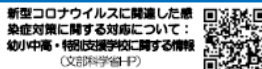
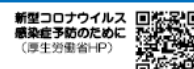
マスクの着用は推奨しません。

2歳以上の就学前の子ども

他者との距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めていません。マスクを着用する場合は、保護者や周りの大人が子どもの体調に十分注意した上で着用しましょう。



- ▶ 夏場は、熱中症防止の観点から、マスクが必要な場面では、マスクを外すことを推奨します。
 - ▶ マスクを着用しない場合であっても引き続き、手洗い、「密」の回避等の基本的な感染対策を継続しましょう。
- ※その他地域の状況に応じて、講じられている対策がある場合、それを踏まえ対応をお願いします。



☆ 6月の予定は、すでに配付済みです。

Google classroomにも配信しています。



日々の学校の様子は「枚方市立西長尾小学校ブログ」をごらんください。

右のQRコードでアクセスできます。⇒

5月26日 4年生 400字創作戯曲づくり

昨年度から取り組んでいる400字創作戯曲をつくりました。原稿用紙たった1枚だけで描く、山場となる一場面です。3年生の時に取り組んでいたのもうやり方はしっかり理解していました。これまで少し助けをもらいながら取り組んでいた人も、自分一人で最後まで書けたことが、自信につながっているようでした。最後にできる限りたくさん作品を朗読しました。



【自己肯定感を高める指導】 2022-05-26 19:32 up!

5月27日 3年生 スピーチ活動

上はおはなしキュービッドさんの読み聞かせです。下は、その後、朝のスピーチをしているところです。買ってもらったものについて、その時の気持ちを話してくれました。質問がいくつか出ていて、その中で、聴いている子どもたちにも具体的なイメージがはっきりとしていきます。毎回のこうしたやりとりの中で、発表する人も聴く人も、伝えることには工夫が必要であることを感じ、どんな伝え方がより分かりやすいのかを感じて、少しずつ積み上げるように工夫することを学んでいます。



【自己肯定感を高める指導】 2022-05-28 11:44 up!

5月24日 5年生 宿泊学習

マキノ高原は好天に恵まれました。空はくっきりと晴れ渡っていますが、大阪より涼しいとのこと。のびのびと元気にそれぞれの活動に取り組んでいます。昼食の後の魚つかみでは、つかんだ魚を焼きました。キャンプファイヤーでは、始めのセレモニーに、火の神様ならぬ「教室の神様」?!が登場し、日ごろ、子どもたちが人知れず頑張っていることを振り返り、褒めてくれていました。思いやりの炎を囲んで、子どもたちは歌や踊りを楽しんでいました。



【学校の様子】 2022-05-24 17:31 up!

5月2日 1年生 遠足

枚方パークに行きました。頭を使うアスレチックなどを楽しみました。短時間のバスの移動でしたが、帰りは、バスの中では寝ている人がたくさんいました。



【学校の様子】 2022-05-02 14:14 up!

5月23日 2年生 校外学習

蒸気機関車にみんなで乗りました。車体や車輪の構造を見て、乗車して揺れや音を感じて、どんな仕組みで動いているのかも考えるきっかけになります。また、今後、社会科などで近代の歴史に触れるとき、その時代を想像する材料の一つにもなります。体験が想像力に色彩や質感・量感といったリアリティを与えていきます。また、同じ体験を集団で同時に行うことは、振り返りのときに個々の気づきを共有することができ、個々人がさらに新たな気づきを得たり、深い学びを得ていくことにつながっていきます。



【学校の様子】 2022-05-23 18:43 up!

5月6日 6年生 コミュニケーション授業

平田オリザ先生にご指導いただき、6~7人のグループごとに台本を自分たちで工夫し、話し合いながら仕上げ、練習をしました。4限目には体育館で各グループごとに発表しました。各学級3時間ずつという短い時間でしたが、同じグループの人と意見を交わしながら、自分たちの考えのとおり伝えるための表現について、一人一人が実際に考えを深めることができました。演劇づくりという、協働的な学びができました。



【自己肯定感を高める指導】 2022-05-06 20:23 up!

5月24日 2年生

清掃の時間。担任の先生のがんばる姿を見て、子どもたち一人一人が率先して協力しています。



【学校の様子】 2022-05-24 18:05 up!